

問 教育支援・働き方改革を

答 職務分担し業務改善



炭竈 ふく代 議員 公明党



問 教員の勤務実態と部活動指導員の現状は。

答 〔教育部長〕業務時間外について、小学校では縮減、中学校では100時間を超える教職員が減少。部活動指導員の存在は大きい。

問 教員の負担軽減への取り組み効果と認識は。

答 校務支援ソフトの導入で教職員の負担軽減。

問 教員の業務量軽減への精査内容は。

答 地域ボランティアとの連携で業務が改善。

問 学校閉庁日の実施の有無と周知は。

答 海部地区全市町村で、8月10日から16日までを閉庁日にした。保護者には文書にて周知。

問 教員の事務作業を代行する「スクール・サポート・スタッフ」事業への考えは。

答 中学校3校に来年度から導入できるよう対応。

問	子どもの命を守る視点で対策を
答	熱中症事故防止に最大限の努力

問 学校生活における熱中症対策について以下を問う。
熱中症による小学生死亡事故や文科省からの熱中症対策徹底通知を受け、市の認識は。

答 〔教育部長〕「守るべきは、子どもの命」という考えのもと、学校と連携し安全な学校生活の維持に努める。

問 学校生活における熱中症予防への対応は。



ミストシャワー拡大写真

▲昇降口に設置されたミストシャワーを浴びて教室へ戻る児童たち(十四山西部小学校)

答 水分補給の時間、エアコン設置教室の活用、気温35度を超えたときの部活動の中断や中止。

問 小学校へのミストシャワーは導入済みだが、今後

保育所・中学校への導入の考えは。
答 〔市長〕来年度、すべての保育所、中学校に設置。